

お客様の
声

消失模型鑄造技術を先駆けて！ ～工場も新しく生まれ変わります～



衣川鑄鉄株式会社
代表取締役社長 衣川 眞司 氏

所在地 ● 京都府福知山市字拝師112番地
TEL ● 0773-22-1156
FAX ● 0773-23-8477
業 種 ● 産業機械の鑄物製造

●会社概要と企業理念

当社は昭和43年創業以来、41年間、鑄物製造を営んできました。主にフォークリフト・クレーン車などのミッションケース、ディーゼルエンジン等の鑄物部品を製造しています。

昨今、「ものづくり」を取り巻く環境が大きく変化しています。こんな時代だからこそ、しっかりとした企業理念と行動指針が必要であるとの観点から当社では5つの宣言を掲げています。

- ①品質と技術の創り込みを最優先に経営すること、
- ②世界のQCDを直視して顧客第一の行動で対応すること、
- ③日本の鑄物製造を追求すること、
- ④資源を大切にす鑄物製造に取り組むこと、
- ⑤鑄物製造を通じて社会に貢献することと、我々自身も幸せになること

これらの考えをしっかりと社員一同意思統一し、現在構築しているISO9001やISO14001のシステムをうまく活用して、さらなる次世代の鑄物製造を目指しています。

●新技術を事業化して

当社の強みは、「消失模型鑄造技術」を保有している点です。発泡スチロールの模型を泥状の砂でコーティングし、乾燥砂の中に埋め込みます。それを減圧して溶湯を流し込みます。溶湯で発泡スチロールが焼失し、模型通りの鑄物が出来上がるという仕組みです。この方法は従来の鑄造法と比べて、製造原価が低減、抜き

勾配不要のため軽量化・肉薄化、高精度に伴う加工レス化、手作り発泡模型による確認可能で試作費削減・短納期化などのメリットがあります。この技術は20数年前より、弊社が日本の鑄物業界での先駆け企業として事業化してきたものです。砂の通気度や減圧の加減、溶湯の温度や注ぐスピードなどあらゆる条件設定が必要であり、長い期間、試行錯誤した末によりやくものになりました。

●貸与制度を利用した理由

昨年末に設備貸与(割賦)制度で「高周波炉(電気炉)」を増設しました。増設した理由は、①大手風車メーカーからの受注による増産に対応するとともに、②既存のキューポラと比べて、材質を見極めて微調整しながら溶解でき、幅広い材料選択が可能になること、③燃料にコークスを使用するキューポラに比べ、電気炉はCO₂の排出量を年間約300トン以上の削減が可能で、地球環境に配慮したものであること、また、④コークスを使用しないことで粉塵等が発生せず職場環境を改善できるためです。

京都産業21の設備貸与制度の良さは、鑄物業界の動向、同業者の動向を把握したうえで、事業計画の正当性、設備の必要性などを理解してもらえる点です。真面目に前向きに取り組んでいる中小企業を応援するリレーションシップで、将来性まで重視した審査をしていただいたことはこれから先も何よりの励みになります。

●今後の展開

当社の技術、前述の設備投資等による積極展開の姿勢が認められ、この度、大手自動車部品メーカーと資本提携をし、新しい工場を建設することになりました。鑄物製造は3Kの職場ともいわれていましたが、今後は製造現場の従業員が意欲を持って働けるような環境作りをしていくとともに、今後も日本の優れた鑄物技術を継承し発展させていきたいと思ひます。



【お申し込み・
お問い合わせ先】

(財) 京都産業 21 事業推進部 設備導入支援グループ

TEL:075-315-8591 FAX:075-323-5211
E-mail: setubi@ki21.jp



計る・包む・検査する

トータルソリューションのイシダ。

イシダは、計量技術を核に、生産から物流、流通などのあらゆる分野に、先進の技術と豊富な経験でお客様を総合的にサポート。確実なメリットをお約束します。



株式会社イシダ

■お問い合わせは

本社 / 京都市左京区聖護院山王町44番地 〒606-8392 TEL.(075) 771-4141

<http://www.ishida.co.jp>

産業構造の「ボーン・アゲイン」——地域の視点から¹

これからの経済発展を考えていくためには、新しい産業構造論ともいべき視点が必要である。

私は、産業構造というものは第1次産業から第2次産業、そして第3次産業へと単線的に発展していくものとして理解すべきではなく、それらの産業の次に情報・知識産業というメタ産業をつくりえた先進国は、その情報・知識産業の成果を、もう一度農業、林業、漁業、そして諸工業、サービス等の産業に反映させ、それぞれの産業を進化させるといのように循環的に捉えるべきものだと考える。これは都市と農村の関係についても同様であり、最初は農村から都市へ労働力が移動することによって都市型の産業が発展するが、その成果としての新たな技術、ノウハウが、たとえば農業機械や新種の「タネ」、農産物の新流通方式などに応用されて農業が新しく発展するのである。

現在は、どのように見ても大きな変革期にある。地球環境問題にしても、グローバル化に伴う所得格差の顕在化にしても、フォーゲルのいう「第四の覚醒期」(本誌2007年1月号の特別寄稿参照)における精神的問題にしても、直接・間接にわれわれの生き方にかかわってくる問題である。このように複雑な問題にかかわっていくには、新しい産業や新しい都市をつくるよりは、これまでの産業や都市を新しい情報・知識によって絶えず「ボーン・アゲイン」していくという発想が重要である。

いま日本には、そのようなシグナルが現れている。農林漁業から、製造業、そしてサービスにいたるまで、基本的な変化を示唆するような徴候がある。本稿では、それを地域の視点から考察してみたい。

農林水産業の例

このような観点からすると、農林水産業という自然を基盤とする産業は、基本的に概念転換が必要な時期を迎えている。情報産業というものを初めて提案した梅棹忠夫名誉教授(平成6年文化勲章受章)の発想は、情報産業を「従来の工業社会をコントロールしてきた『物質』と『エネルギー』を原理とした社会と根本的に違う」ものとして考えられたのである。前述のように「情報・知識」というメタ産業が生まれ、そこでの成果が再び第1次産業に還流するのであれば、農林水産業はそのような価値転換の要素を含めて再考されるべき時期にきている。現に、都市の喧騒を逃れて農村に住みだした人々の中には、そういう価値観の転換を個人的に明言している人もいる。² それが、まだ少数派だとしても、多くの地方自治体に最近生まれている「里山づくり」というプロジェクトは、産業化・都市化のなかで晴耕雨

読的な場を求めたい人々の顕れであろう。

もう少し経済的問題に引き戻すために、経済を基本的に動かす相対価格の変化に注目してみると、ここでは極めて現実的な動きがある。周知のように、石油価格の高騰に伴って代替燃料としてのエタノールに対する需要が増大し、トウモロコシや穀類がエタノールの原料としても使われるよ



京都府特別参与、一橋大学名誉教授
今井 賢一

うになり、穀物の価格も上昇している。それに伴って、日本でもこれまで米の過剰生産を調整するために補助金が支出される休耕地になっていた田畑で代替燃料の原料となりうる穀類が生産される可能性も生まれる。食料を燃料に使うということは、自然保護者からみると自己矛盾のようだが、荒廃する休耕地の管理が農村に残る人々の大きな負担になっていることを考えれば、燃料にしか使えない植物をつくることは有意義である。また、全般的な穀物の価格上昇は、現実的なシグナルであるだけに、かねて潜在していた農業改革への意欲を引き出すのである。

農業の希望の星

たとえば、琵琶湖近くの滋賀県湖北町にある「有限会社ニューファームSAYURI」の取締役である田中小有里さんは、岐阜大学で情報処理を専攻した若い女性だが、ある農場を手伝ったのがきっかけで「効率よく収穫するためには自分で工夫しなければならない農業の面白さ」を知ってのめり込み、現在ではその地区で最大の70ヘクタール超の農地の跡継ぎとなり、社長と専業従業者の4人だけで経営している。現在では大部分の農作業は機械で行うことができ、昔のように泥だらけになる必要がなく、彼女はメイクしてジーンズ姿で仕事をしており、普通の女の子でも農業が出来るのだということを知って貰いたいという。

田中さんに聞くと「現実には厳しい」というが、さすがに工学部の情報処理専攻らしく、農業の技術革新の本質をよくわきまえているのではないかと思う。田中さんの収穫する米は毎年「一等品」が9割以上(通常は6割)だそうだが、それは収穫の時期が近づくと生育状況を綿密に観察し、最適の時期に収穫するからである。また、大豆の収穫量が激減したときには、条件が悪いときでも一定の収穫量がえられる大豆の生育方法を開発し、農

1 本稿の一部は、筆者の近著『創造的破壊とは何か:日本産業の再挑戦』(東洋経済新報社、5月1日刊)からの引用である。

2 高谷好一「田舎の文化」渡部忠世編『日本農業への提言』、農文協、2001。

林水産省経済局長賞を受賞している。³

農業とITとは関係なさそうに見えるが、農業の技術革新においては観測と計測が決定的に重要であり、経済学の観点から農業の技術革新を研究している叶芳和氏もかねてその点を強調していたが、高感度のセンサー技術などを中心に農業の観測・計測技術は大きく進歩する可能性がある。最近、京都大学大学院の農業研究科が農産物の「素材や調理加工技術、食文化などを先端科学で解明し世界の健康をめざす『京の食モデル』を創出するというプロジェクトを始めているが、こういう試みは全国各地に生まれているようであり、日本の農業には新たな発展の機会が訪れているのである。

工業の例——人材立地

日本の大企業の変革のシグナルはいろいろあるが、ここではそれらの優良企業を支えている中小企業の行動のなかにまったく新しい変革のシグナルを探してみたい。それは関満博（一橋大学教授）が「人材立地」という概念で述べている実に興味深い最近の動きである。

日本のハイテク製品の細部を製造加工するものづくりのいわば「心臓部」は、東京の大田区、墨田区などの下町の中小企業、東大阪の独立系中小・零細企業、京都南部の機械金属加工ネットワークなどによって支えられていたのであるが、これらの企業では最近後継者が容易にえられず、日本の熟練技術の衰退が危惧されている。しかし、東北地方の辺境中小都市では、工業高校の学生時代から若者を育成していくことを重視し、日本のものづくり能力の維持と、今後の継続的な発展を目指している。関満博によれば、それは「日本の新しいものづくり立地を担おうとする「人材立地」という観点から、その人材育成の担い手としての工業高校に注目する」ことである。⁴

よく知られているように、東京下町、東大阪、京都南部に集積している中小企業においては、かなりの優良企業においても、「新卒」を採用することは困難である。東京の江戸川区にある能率機械製作所は世界最高レベルの高速プレス機を生産する小さな世界一企業であるが、それでも新卒を一人も採用できないでいたところ、たまたま山形県長井高校から良質の生徒を採用することができ、それを契機に同校との採用ルートをつくり、その能率機械製作所が長井市に工場を設立するまでにいたっている。まさに「人材立地」である。

長井市の若者は、自分たちの仕事の世界最高レベルの高速プレス機を作っているという「つながり」のなかに自己のアイデンティティ（生きがい）を感じ、長男である自分たちがここに住んで働き、自分たちの故郷を再生させようというエネルギーをえているのである。

その結果、他地域の高校に吸収されそうになっていた地元工業高校が再建されて人気高校になり、技能試験での成績

3 2007年3月13日付け日本経済新聞の大阪経済部鈴木洋介記者の記事による。

4 関満博、「ものづくりと中小企業の未来」、一橋ビジネスレビュー、2007年夏号。

も抜群となり、「就職は毎年100%、うち地元就職は90%以上」という画期的な成果をおさめるまでになっている。

関満博は「若者たちに〈関心〉をもち〈希望〉を与えることが、この国のものづくりの将来を決する」といっているが、現在の地方問題や教育論議にとっては、実に有益な示唆に富む「変革のシグナル」である。

サービス産業の例——日本のオープンソフト・ラボ

さて、変革の兆しの最後として、今後の日本の情報化にとって大いに期待をもてる明るい展開を述べておきたい。それは、憂慮すべき点が多い日本のソフトウェア産業にとって希望の星となりうる拠点が、世界に知られるソフトウェア・アーキテクトである「まつもとゆきひろ」氏の「松江オープンソースラボ」として島根県の松江市に開設されたことである。地方での小さな出来事と思われるかもしれないが、通称「まつもとゆきひろ」という名前はインターネット上では超有名であり、オープンソースの「リナックス」にも比せられる基本ソフト「ルビー」⁵の開発者であって、同氏が地元で定住され、松江のラボで活動されるということは、地方経済にとっても日本のソフトウェア産業にとっても画期的なことである。

この「ルビー」というソフトは、他の言語を使う場合に比べて、同じ内容のソフトが10分の1の行数で書ける「すぐれもの」だといわれている。最近のソフトは想像を絶するほど膨大な行数になっており、ケータイに組み込まれているソフトウェアですら2000年に百万行を越えているから、その行数が1/10になるということは、誤りのチェックの行数もそれだけ減らせるということであって、1桁以上の生産性向上を意味する。われわれの仕事や生活のあらゆるところにソフトウェアが目に見えないかたちで組み込まれていることを考えれば、この生産性向上の効果には注目すべきであろう。

同時に、基本ソフトにおける成功は、これまでの日本のソフトウェア産業の基本的な弱点、すなわち基本ソフトをマイクロソフトに依存し、その核心の部分（ブラック・ボックス）を知りえないことからくる不安を取り除くとともに、ソフトウェアの創造性にかかわる自信を呼び込むであろう。

松江市および島根県では、これを契機にIT振興に力を入れ、技術者認定なども奨励していくとのことであるから、かりに地元の松江市や島根県の行政事務がこのソフトを使って行われるようになれば、日本経済新聞で使われた「ルビーの奇跡」⁶といわれるような波及効果が生まれるかもしれない。日本政府が旗を振ったソフトウェアのいわゆる日の丸プロジェクトで成功したものはないが、ルビーは松江市発のプロジェクトとなり、日本の地域社会の潜在力が世界で再認識される契機となり、地域再生の斬新なモデルとなりうるものである。

5 米国ではRubyのための国際会議が毎年開催され、英語や仏語の解説書も多数出版されている。たとえば、David Thomas, Chad Fowler, Andrew Hunt, *Programming Ruby: The Pragmatic Programmer's Guide*.

6 日本経済新聞、2006年11月3日、「成長を考える」の欄。

ものづくりのエキスパートが続々と登場！ ものづくりベンチャー支援セミナー

今回は、100万分の1グラムの歯車を開発された(株)樹研工業(愛知県豊橋市)代表取締役 松浦 元男氏のご講演を紹介します。

テーマ:「ものづくりの夢を描いていますか?～費用対興味の哲学～」

平成20年3月4日(火)当センター研修室にて開催。

100万分の1グラムの歯車の効果

当社ではプラスチックの小型精密部品を作っています。10年前は大手家電メーカーさんへの売上が半分ぐらい占めていましたが、今は大手さんとの取引はありません。大手さんは中国など海外から調達されるようになりました。しかし、100万分の1グラムの歯車を開発したおかげで、当社の技術力が周知でき、時計屋さんから引き合いがくるようになりました。携帯電話が出てきて時計が売れなくなると、今度は、自動車関連メーカーさんからスピードメーターに使う歯車の引き合いがきました。さらに、携帯電話のカメラレンズやデジカメに使う精密なねじの仕事もきました。同業者がマネできない技術を身につけることで、新しいマーケットが開けていきます。私どもは今、自動車用、家電向けの精密な部品を作っていますが、こういう仕事はあと3～5年で7割くらい消えるだろうと考えています。そこで、最高級のマシンを導入し、誰もついて来られない超精密な切削技術を身につけました。職人技だの言葉だの言っていると時代遅れになります。最高級のマシンの上にどんな職人技があるかです。

品質管理

当社の高い品質保証の裏付けとなっているのは、生産、技術、管理全体のシステムであるジューケンシステムです。高性能な機械、高精度な金型を使用し、すべての作業は当社の「業務推進マニュアル」に従い、遂行されます。受注に際しては、不良品がでないような設計を提案します。私どもの提案を聞いていただけない場合は受注しません。当社では、量産の条件で試作品を作ります。試作品ができると精密測定室へもって行き測定します。あらかじめ打ち合わせをした重要寸法については、公差に入っていれば合格とはせず、公差の真ん中に入っていなければ合格にしません。そうすれば材料がばらついて、気温・湿度がばらついて、その他何があっても、全部吸収できるわけです。

財務管理

1973年、オイルショックの年の年末のことです。家へ帰ってラジオのスイッチを入れると、松下幸之助さんが、支払手形は切らず身の丈の経営をするようにおっしゃっていました。それ以来、手形を切るのをやめました。そして、自己資本を増やしていきました。きちんと決算をして、きちんと税金を払って、残りを内部留保にします。配当はしません。



(株)樹研工業 代表取締役
松浦 元男氏

採用と人材育成

当社では数十年間退職者ゼロです。60歳を超えている社員が10人いますが、給料は下げていませんし、地位もそのまま、昇級もします。親子で来ている社員もいっぱいいます。女性も子供さんができると退職しますが、手が放れたら戻ってきます。戻ったときに昇級だけはしています。リクルートに関してお金は一銭もかかりません。採用は先着順で、履歴書は見たことありません。今の子はきちんと教育されていますので、うまく動機づけしてあげると、あっという間に伸びていきます。

中小企業の生きる道

今ある世界の中で、どういうテーマを選んで、どこに目をつけて、どんなに懸命にやっていくかということが大事です。現在不況だと言われていますが、この不況が楽しみなのです。不況というのは、社会が変わる前兆の幕間。幕が開けたときに、どんな世界が開けているか、その世界に自分の企業の体質が合わせられているかがカギ。私たちは、ナノ切削、精密なねじで次の幕開けを待っています。

★講演内容の詳細は、当センターHPにアップしておりますので、ぜひご覧ください。

<http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/rea/sem/mon/res07>

【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター
企画連携課 情報・デザイン担当

TEL:075-315-9506 FAX:075-315-9497
E-mail: design@mtc.pref.kyoto.lg.jp

KYOTO DESIGN WORK SHOW

—ものづくり企業とデザインのマッチング—

京都府中小企業技術センターでは、ものづくり企業とデザイナーのマッチングを推進するために、2月21日(木)、22日(金)にパルスプラザ(京都市伏見区竹田)で開催された京都府・財団法人京都産業21主催の「京都ビジネス交流フェア2008」において、独立ブースを設置し、その場で出展者であるデザイナーがものづくり企業に対して展示・プレゼンテーションを行う「KYOTO DESIGN WORK SHOW」を開催しました。

当日は、デザイン事務所のブースということもあり、他の企業・団体のブースと比較して、照明やディスプレイにひととき光るものがあり、多くの方に来場いただき、ものづくり企業とデザイナーの交流が図られました。

企業がより一層発展していくためには、社会や顧客に向けて新しい価値を創造し、提供していかなければなりません。そのために、ものづくり企業においては、企業が保有している「新しい価値」を「形」にしてくれるデザインを経営資源として捉えた活用が重要になっています。

今回の「KYOTO DESIGN WORK SHOW」で、デザインマッチングが進み、京都府の中小企業のものづくり技術が向上することを期待しています。

出展デザイン事務所紹介

item-s design

代表者 北條 崇

〒569-0817 大阪府高槻市桜ヶ丘北町27-10
アンビエンテ桜ヶ丘205
TEL 072-693-0811 FAX 072-693-0811
URL <http://www.item-s.jp/design/>

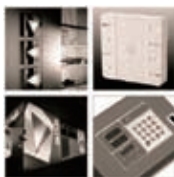


「KYOTO DESIGN WORK SHOW」ブース

アッカ・デザイン株式会社

代表取締役 樋口 直正

〒540-0008 大阪市中央区大手前1-4-2
都住創大手前704
TEL 06-6947-7160 FAX 06-6947-7625
URL <http://www.akka-design.com>



株式会社GK京都

代表取締役 栄久庵 憲司

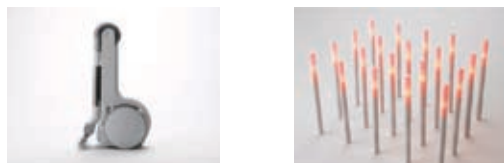
〒602-0898 京都市上京区相国寺東門前町657
TEL 075-211-2277 FAX 075-231-1047
URL <http://www.gk-kyoto.com/>



株式会社ハーズ実験デザイン研究所

代表取締役 村田 智明

〒560-0053 大阪府豊中市向丘1-5-22
TEL 06-6854-3387 FAX 06-6854-3386
URL <http://www.hers.co.jp>



株式会社フォントアージュ

代表取締役 立松 俊二

〒604-8156 京都市中京区室町通蛸薬師下ル
山伏山町539 京絨ビル3F
TEL 075-211-1009 FAX 075-211-1039
URL <http://www.fontage.co.jp>



【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター
企画連携課 情報・デザイン担当

TEL:075-315-9506 FAX:075-315-9497
E-mail: design@mtc.pref.kyoto.lg.jp

平成19年度環境配慮型ものづくり企業支援講座

京都府中小企業技術センター中丹技術支援室では、地域の企業が取り組む必要のある課題に対して、新事業展開を含め、的確に対応できるように、今年度は「環境」をテーマにもものづくり企業を支援するための3回の講座を開催しましたので概要を紹介します。

1. 「RoHS対策分析」

有害物質管理の必要性が高まる中で、最新の規制の状況と規制物質の分析技術の実際を学び、環境に配慮したものをづくりを支援する目的で開催しました。

- 有害化学物質から健康と環境を守る目的で実施されたREACH規制は、事業者が製品等に含有する化学物質の登録と、登録化学物質の安全性評価情報の提供が義務づけられた。
- RoHS指令における化学物質規制は、①大型家庭用電気製品、②小型家庭用電気製品、③IT及び遠隔通信機器、④民生用機器、⑤照明機器(家庭用照明器具を除く)、⑥電動工具(据付型大型産業用工具を除く)、⑦玩具・レジャー・スポーツ機器、⑧自動販売機に加え電球・家庭用照明器具が対象となっている。
- 蛍光X線分析法は、無機成分の分析法としてJISに指定された分析法で、複雑な前処理が不要で迅速分析が可能である。RoHS関連の有害元素のスクリーニングが可能で、金属・セラミック・ゴム・プラスチック・液体等の測定も可能である。
- RoHS指令の中では、六価クロムの定量に関して分析法はまだ決まっていないが、紫外可視分光光度計を用いたジフェニルカルバジド法は有効な定量法の一つである。
- EUの規制物質には、RoHS及びWEEE関係では、ポリ臭素化ビフェニルとポリ臭素化ジフェニルエーテルがあり、臭素系難燃剤のスクリーニング法としては、熱脱着-GC/MS法が適用可能と考えられる。

2. 「マテリアルフローコスト会計・エコ会計」

環境への取組と収益向上を両立させる「マテリアルフローコスト会計(MFCA)」と、京都府が京都府商工会連合会に開発委託した環境負荷を簡易に算出する「エコ会計」の周知を行い、環境負荷低減の意識向上を図る目的で開催しました。

- 環境「管理」会計のひとつであるMFCA会計は、環境負荷の低減と収益向上を図りながら環境保全活動の継続的な見直し・改善に活用することができる

メリットがある。このMFCAは、製造プロセスで不良品や廃棄物を工程ごとに物量ベースで測り原価を明確にして、原価・環境負荷の削減と収益向上を図る考え方で、社内活用が主な目的である。

- エコ会計は、日々の伝票入力において環境負荷及び環境保全に関する勘定科目が発生した時、同時に環境負荷データや環境保全のコスト登録ができる。環境負荷データは、CO₂排出量などあらかじめ設定した負荷換算基準に照合して計算することができ、表やグラフで推移を表示することができる。また当年度の水道光熱費・燃料費・動力費の金額からもエネルギー消費量・CO₂排出量を自動計算し、前期・前々期とユーザーが設定した基準値と比較することもでき、社内におけるCO₂削減の取組を推進することができる。

3. 「環境配慮型ものづくり」

リサイクルよりエネルギー消費が少ない部品等のリユースの視点からものづくりの方向を考えると共に、地元先進企業の環境対応への取組を参考に環境にやさしいものづくりの取組を推進する目的で開催しました。

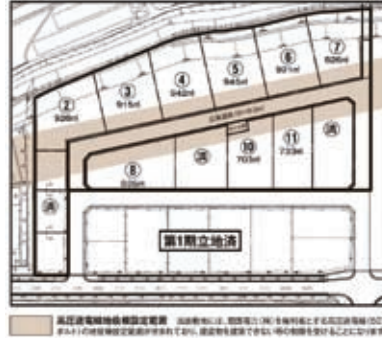
- 環境配慮型製品の実現方法の一つに部品のリユースがある。このとき、リユース部品には2回以上の使用に耐えるだけの物理寿命を設定する必要があるが、過度な物理寿命は、環境への負荷が増大する可能性がある。リユース部品の最適な物理寿命について品質工学的手法を活用し、その最適化について考察された。
- オムロン(株)では、規制物質を内部規定により、使用禁止物質・全廃物質・代替促進材料・自主管理物質の4分類に分類している。規制化学物質フリー化活動では、使用禁止物質の排除を進め、規制化学物質が含まれた部材を「買わない・使わない」を調達の基本としてグリーン調達制度を運用している。また、製品環境目標及び製品環境仕様に合格し、製品環境結果の確認で合格した製品について量産を開始するなど「環境を保証した製品作り」に取り組んでいる。

けいはんなベンチャービレッジ

関西文化学術研究都市(けいはんな学研都市)精華・西木津地区の中心地区で、元気な中小・ベンチャー企業が立地し、地域活性化の一翼を担っている「けいはんなベンチャービレッジ」についてご紹介します。

▶けいはんなベンチャービレッジの概要

「けいはんなベンチャービレッジ」は、独立行政法人都市再生機構が整備し、新産業創出の拠点としてベンチャー企業や中小企業の集積を目的に、小区画の土地を提供しています。第1期の全10区画は既に完売し、現在、5社が事業を開始しています。本年3月には第2期の造成工事が完了し、現在、9区画入居企業を募集しています。(問い合わせ先:UR都市機構 西日本支社 TEL:06-6346-3097)



(独立行政法人都市再生機構/パンフレットより抜粋)

▶けいはんなベンチャービレッジの入居企業を紹介します。

株式会社加地 けいはんなR&Dセンター

- 事業内容 EXGEL®商品製造販売、自動車内装部品加工、バッグ製品縫製加工
- 代表者 小川 國男
- 所在地 相楽郡精華町光台3-2-7
(本社:島根県仁多郡奥出雲町三成1295-3)
- 電話番号 0774-98-2633
- URL <http://www.kaji-web.co.jp/>
- 一言PR

極めて柔軟性の高い合成ゴム EXGEL®(エクスジェル)は、体圧分散、衝撃吸収に優れた機能を活かし、医療福祉用品、ベビー用品、自動車用品など幅広い分野で高い評価を得ています。



広和工業株式会社

- 事業内容 産業機械用乾燥装置の開発
- 代表者 広瀬 亮二
- 所在地 相楽郡精華町光台3-2-6
- 電話番号 0774-98-2170
- 一言PR

産業機械向けの特殊な乾燥装置の開発・設計を手がけています。特に、繊維素材に色や柄をプリントする染色仕上げ機械(捺染機)に内蔵される乾燥装置の開発・設計を得意としており、独自のノウハウを生かして、多様化するユーザーのニーズに対応した製品づくりに取り組んでいます。



高由金属株式会社 光台テクノセンター

- 事業内容 産業機械部品加工及び組み立て
- 代表者 高島 章
- 所在地 相楽郡精華町光台3-2-9
(本社:大阪府八尾市福栄町1-19-1)
- 電話番号 0774-98-2617
- URL <http://www.takayosi.co.jp/>
- 一言PR

加工難度の高い比較的大物の精密加工や精密微細加工が得意です。素材は、特殊鋼、ステンレス鋼、アルミ材、樹脂、カーボンなど多岐に渡っています。加工、組立を社内で行い、品質の高い製品を短納期で提供すると共に、蓄積された加工技術・ノウハウを踏まえた技術的提案も行っています。顧客の思いを先取りして実現できる会社を目指しています。

日本制御株式会社

- 事業内容 ソフトウェア開発
- 代表者 西岡 誠
- 所在地 相楽郡精華町光台3-2-11
- 電話番号 0774-95-0201
- URL <http://www.nseigy.co.jp>
- 一言PR

医療用計測器から工業用成分分析装置さらには通信技術を使用した各種端末装置や制御装置の人的設計ミスが許されない組み込みソフトウェアを専門に開発する技術者集団です。社会に貢献できる技術の開発を目指し日々研鑽に励んでいます。



【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター
けいはんな分室

TEL:0774-95-5027 FAX:0774-98-2202
E-mail:keihanna@mtc.pref.kyoto.lg.jp

ジョイント・フォーラムを開催しました

3月13日(木)、当センターで“明日の丹後テキスタイルを考える”をテーマにした「経営者育成セミナー」と「繊維シンポジウム」を『ジョイント・フォーラム』として開催しました。産地若手機業経営者など40名を超える参加者は、最前線で活躍のトータルコーディネータと夢のシルク開発者のお話の中から、販路開拓や新商品開発への糸口を見出そうと熱心に耳を傾けていました。

「経営者育成セミナー」では、丹後織物ルネッサンス事業等で御指導いただいている(株)デザイン プラザ マックスの越智和子氏が「共感するものづくり ～創り手と使い手を結んで～」と題して講演。自社のブランド展開やデザイン、丹後機業の取組事例などを通し、“ライフスタイルの分析・観測から、今の生活者に作り手の思いが伝わるものづくり”を提唱されました。

「繊維シンポジウム」では、信州大学繊維学部応用生物科学科の中垣雅雄教授から、飼育が簡単な蚕(カイコ)にジョロウ蜘蛛の糸を作る遺伝子を組み込むことで開発した夢のシルク「スパイダーシルク」のお話を伺いました。11%の蜘蛛の糸が含まれた強い生糸の開発過程や遺伝子操作のメカニズム、奈良県の靴下メーカーとの共同開発による丈夫な靴下の試作などの紹介を受けました。

現状では、繭が通常の3分の1程しかないこと、さらに蜘蛛の糸の成分の割合を多くすることなどの課題があるようです。しかし、今日まで私達が全く目にしたことのない生糸であり、衣料用以外にも医療・宇宙・航空機分野への可能性を示唆いただきました。



スパイダーシルクの可能性を紹介する中垣教授

「JAPANブランド・丹後テキスタイル展2008」で丹後ちりめんなどを展示しました

京都府商工会連合会では、国のJAPANブランド育成支援事業の支援を受けて、2月6日から8日の3日間、フランス・パリで、「JAPANブランド・丹後テキスタイル展2008」を開催されました。

この展示会は、丹後が誇る織技術を駆使した丹後ちりめん、藤布、螺鈿帯、風呂敷、オートクチュール向け服地、インテリアなど約400点を品揃えし、海外市場の開拓と日本の伝統文化の普及を目的に、丹後地域の8業者が参画して実施されたものです。

期間中は、エルメス、シャネルのデザイナーを始め200名を超える方が来場され、展示品を念入りに手に取って、出展者に通訳を介して質問を重ね、じっくりと品定めをした上でサンプルを持ち帰るなど、商品に対する関心の高さを示していました。



会場の様子と展示品を手に取る来場者

【お問い合わせ先】

京都府織物・機械金属振興センター
企画連携課

TEL:0772-62-7401 FAX:0772-62-5240
E-mail:info@silk.pref.kyoto.jp

府内主要業界の景気動向について (平成20年1月～3月)

～足下に大きな減速はないが、先行き不透明感が増している～

当センターでは、このほど平成20年1月～3月における府内主要業界景気動向の調査結果を取りまとめました。調査時点は3月末で、主要業界について業界団体及び複数の企業ヒアリング結果を要約したものです。

※詳細は、http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/inf/inv/eco/08_01-03に掲載しています。

概況	アメリカ経済の不調から先行きに不透明感が出ていますが、現状の受注、売上状況は大きく減速していません。しかし、原材料費上昇に加え、為替の円高、ドル安進行により、採算面では中小だけでなく大手でも厳しい状況が生まれています。京都観光は冬場の閑散期対策が成果を挙げていますが、北部は団体客が落ち込んでいます。小売は、百貨店や観光客の多いショッピング街は好調に推移していますが、スーパー、地場商店街の日用品販売は低調です。印刷業界は需要が伸びず、原材料費上昇から採算面では厳しい状況です。情報サービス業は、受注が上向く気配です。建設は、民間建築の落ち込みが続いています。	
飲食料 品	惣菜 京菓 菓子	惣菜業界は、「調理食品」は食卓に不可欠で前年並みに堅調ですが、燃料・原材料費高騰と材料の国産シフトで収益性は低下しています。 京菓子は、相次ぐ食の安心・安全を揺るがす不祥事の影響などから、マイナスに転じています。
繊維 染色	和装 洋装 品	丹後ちりめんの1～3月生産量は、前年同期比1.4%増加となりました。西陣帯地の1～2月出荷額は前年同期比24.8%減少です。小幅友禅染色は、振袖の一部が動きましたが、全体としては2割以上の減産で厳しい状況です。 西陣ネクタイはクールビズ定着で春・夏物の落ち込みが大きく、1～2月は前年比27.8%減少です。機械染色では、燃料、染料等の価格上昇に加え、円高から企業の採算性は一段と悪化しており、業界大手が廃業することになりました。
仏壇・仏具		安価な国内他産地や中国産との競合による厳しい状況に加え、景気の先行き不透明感から購入が先送りされる傾向が出ています。
印刷		商業印刷、軽印刷とも需要は伸び悩み傾向です。印刷用紙、その他の原材料価格の上昇を、受注価格に転嫁出来ていない状況です。
電子部品		世界の電子機器生産の伸び率が鈍化しており、電子部品の需要増加に今までの勢いが見られません。需要は長期的には安定的に推移していますが、世界的な景気減速への懸念や原材料価格の高騰、為替の円高傾向などにより短期的には減速感や不透明感が出ています。
機械 金属	銑鉄 金型 一般機械・ 産業用機械 輸送用機械 精密機械	銑鉄鑄物の受注量は前年比で大幅に増加しましたが、銑鉄や副資材の価格高騰分は販売価格に転嫁できていません。 デジタル家電、電子部品関連の金型は、大口顧客の設備投資抑制により受注は昨年同期比大幅減少です。半導体製造関連装置は、投資時期を翌期以降へシフトするケースが目立ちはじめました。FPD製造装置は、韓国や台湾メーカーの投資が回復して受注は急速に上向いていますが、売上に反映するのは来期以降です。制御機器関係と電力機器関係は、全体としては堅調に推移しています。不織布など産業用繊維素材向け機械の受注は引き続き好調ですが、新規引き合いは減少傾向です。 輸送用機械は、日本市場での新型車投入効果は薄れてきたものの輸出向けが依然として好調です。精密機械では、自動車産業向けの計測機器、地球環境対策用の環境計測機器、医療計測機器などの売上は高水準を維持しています。
小売	百貨店 スーパー 商業施設・ 商店街	京都市内百貨店の総売上高は、1月が15か月ぶりに前年比1.2%減少しましたが、2月は3.6%増加に回復しました。身の回り品、食料品が好調でした。 京都府内スーパーの1月総販売額は、前年比1.4%増加となりました。商品別では、衣料品、身の回り品、食料品、家庭用品等で前年を上回っています。 京都駅近辺の商業施設では売上高・客数ともに好調で、1月、2月は前年を数パーセント上回りました。河原町周辺の商店街も引き続き好調です。
観光		市内主要ホテル客室稼働率は、客室改装及び寒気の影響により前年を下回ったものの冬場の閑散期対策が成果を挙げ、1月は67.6%、2月は76.2%と高水準を維持しました。
情報サービス		商談数はやや増加していますが、受注、営業利益率は競争激化等により横ばいです。今後の受注は、やや増加と見る企業が多いです。
建設		公共工事請負高は、京都市内が大幅に増加したことにより府全体として前年同期比11.3%増加となっています。1月新設住宅着工戸数は前年同月比42.5%の減少で、依然として確認審査手続きが円滑に進んでいない状況です。

景気動向については、四半期ごとに掲載していましたが、本号で終了いたします。

【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター
 企画連携課

TEL:075-315-9506 FAX:075-315-9497
 E-mail:design@mtc.pref.kyoto.lg.jp

受発注あっせんについて

このコーナーについては、事業推進部 市場開拓グループまでお問合せください。

なお、あっせんを受けられた企業は、その結果についてご連絡ください。

市場開拓グループ TEL.075-315-8590

(本情報の有効期限は6月10日までとさせていただきます)

本コーナーに掲載をご希望の方は、市場開拓グループまでご連絡ください。掲載は無料です。

発注コーナー

業種 No.	発注品目	加工内容	地域 資本金 従業員	必要設備	数量	金額	希望地域	支払条件	運搬等・希望
機-1	自動化・省力化機械部品	切削加工・板金加工(アルミ、鉄、ステン等)	京都市南区 1000万円 15名	汎用・NCフライス、汎用・NC旋盤、MC等関連設備一式	多品種小ロット (1~100個)	話合い	近畿圏	月末日 翌月末日支払、 10万円超形120日	運搬受注側、材料支給無し、継続取引希望
機-2	自動化機械のオートCADによる機械設計		京都市南区 1000万円 15名	オートCAD	話合い	話合い	不問	月末日 翌月末日支払、 10万円超形120日	継続取引希望
機-3	精密機械部品(アルミ、SS、ステンレス)	切削加工	京都市南区 1000万円 30名	MC、NC旋盤、NCフライス盤他	話合い	話合い	近畿圏	月末日 翌月末日支払、 振込	運搬受注側持ち、断続取引希望
機-4	工作機械付属設備(ステンレス容器、タンク)	製缶加工(φ500)	京都市伏見区 1000万円 45名	関連設備一式	話合い	話合い	不問	月末 翌月20日支払、 現金	
機-5	精密機械部品	切削加工	京都市南区 1000万円 40名	MC、NC旋盤、NCフライス盤他	話合い	話合い	不問	月末 翌月末日支払、 全額現金	運搬受注側持ち、継続取引希望
機-6	ワイヤーハーネス加工		亀岡市 1000万円 10名	関連設備一式	3名分程度	話合い	不問	末日 翌月末日支払、 全額現金	運搬受注側持ち、継続取引希望
織-1	ウェディングドレス	裁断~縫製~仕上	京都市中京区 9600万円 130名	関連設備一式	10~50着/月	話合い	不問	25日 翌月10日支払、 全額現金	運搬片持、内職加工先持ち企業・特殊ミシン(メローがけ)可能企業を優遇
織-2	ウェディングドレス	裁断~縫製	京都市右京区 10億7159万円 230名	関連設備一式	10~50着/月	話合い	不問	月末日 翌月末日支払、 全額現金	継続取引希望、運搬発注側持ち
織-3	婦人ナイティー (ネグリ・パジャマ)	縫い直し	京都市山科区 500万円 6名	関連設備一式	月産300枚	話合い	京都市 近辺	15日 翌15日支払、 全額現金	継続取引希望、運搬片持ち

受注コーナー

業種 No.	加工内容	主要加工 (生産) 品目	地域 資本金 従業員	主要設備	希望取引条件等	希望地域	備考
機-1	MC・汎用フライスによる精密機械加工(アルミ、鉄、ステン、チタン他)	半導体関連装置部品、包装機等	京都市南区 300万円 5名	立型MC3台、汎用フライス4台、CAD/CAM1台、汎用旋盤1台他	試作品~量産品	京都・滋賀・大阪	運搬可能
機-2	小物MC加工(アルミ・SUS・鉄他)	産業用機械部品	京都市南区 600万円 1名	マシニングセンター、NC旋盤他	話合い	京都・滋賀・大阪	継続取引希望
機-3	切削加工・溶接加工一式(アルミ・鉄・ステン・真鍮)	液晶製造装置・産業用ロボット・省力化装置等精密部品	京都市南区 500万円 21名	汎用旋盤5台、NC旋盤3台、汎用フライス3台、MC6台、アルゴン溶接機5台他	単品~中ロット	不問	運搬可能、切削加工から真空機器部品のアルゴン溶接加工までできる。
機-4	金属部品の精密切削加工(AL、SUS、SSなど)	工作機械部品、車輛部品、油圧部品、電機部品	京丹後市弥栄町 3600万円 20名	NC旋盤、マシニングセンター各12台	中~大ロット	不問	高品質、高い技術、豊かな人間性をモットーに、NC旋盤、マシニングセンターにより、車両・電機・機械など金属部品加工をしています
機-5	パーツ・フィード設計・製作、省力機器設計・制作		宇治市 個人 1名	縦型フライス、ボール盤、メタルソー、半自動溶接、TIG溶接、コンタ、CAD、その他工作機械	話合い	不問	自動機をパーツ・フィードから組立・電気配線・架台までトータルにて製作しますので、低コストでの製作が可能。
機-6	一般切削加工、ワイヤーカット加工	弱電部品のプレス金型設計製作及び一般部品加工	亀岡市 個人 1名	ワイヤーカット放電加工機、立フライス盤、卓上ボール盤、成形研磨機他	話合い	不問	単発取引可
機-7	電線・ケーブルの切断・圧着・圧接・ピン挿入、ソレノイド加工、シールド処理、半田付け、布線、組立、検査	ワイヤーハーネス、ケーブル、ソレノイド、電線、コネクタ、電子機器等の組立	京都市下京区 3000万円 80名	全自動圧着機(25台)、半自動圧着機(50台)、全自動圧接機(15台)、半自動圧接機(30台)、アプリケータ(400台)、導通チェッカー(45台)他	少ロット(試作品)~大ロット(量産品)	不問	経験30年、国内及び海外に十数社の協力工場を含む生産拠点を持ち、お客様のニーズに応えるべく、スピーディでより低コストかつ高品質な製品を提供します。
機-8	プレス加工・板金加工~アルマイト表面処理	アルミ材	八幡市 5000万円 30名	プレス機、深絞り用プレス、油圧プレス機、自動アルマイト処理設備一式(硫酸皮膜・磷酸皮膜対応)他	話合い	不問	全て自社工場内で行い、お客様にアルミ加工技術をご提供したいと考えております。

機-9	SUS・AL・SS板金・製缶、電子制御板等一式組立製品出荷まで	SUS・AL・SS製品、タンク槽、ボイラー架台等、大物、小物、設計・製造	南丹市 1000万円 8名	ターレットパンチプレス、シャー各種、ベンダー各種、Tig・Migアーク溶接機各5台以上、2.8tクレーン2基、1t3基、フォークリフト2.5t2台、その他	話合い	不問	2t車、4t車輛、継続取引希望、単発可
機-10	MC、汎用フライスによる精密機械加工(アルミ、鉄、ステンレス)	半導体関連装置部品、包装機、FA自動機等	京都市南区 1000万円 30名	三次元測定器、MC、NC旋盤、NCフライス盤、汎用フライス盤、CAD他	試作品～量産品	京都・滋賀・大阪	運搬可能
機-11	プレス加工(抜き、絞り、曲げ、穴あけ)	産業用機械部品等金属製品	京都市右京区 個人 3名	トルクバックプレス35～80t、トランスファープレス、スケヤシャー、多軸タッピングマシン他	話合い	府内企業希望	継続取引希望
機-12	切削加工、複合加工	産業用機械部品、電機部品、自動車部品	長岡京市 1000万円 10名	NC自動旋盤、カム式自動旋盤	中～大ロット	近畿府県	小径・小物(φ1～20～600ミリ)、量産加工(500～50万個程度)
機-13	切削加工	産業用機械部品	京都市伏見市 個人 2名	NC立フライス、旋盤5～9R、フライス盤#1～2、平面研削盤等	話合い	不問	継続取引希望
機-14	切削加工	産業用機械部品	京都市下京区 個人 1名	汎用旋盤6R、立フライス#1、タッピングボール盤、ノコ盤、ボール盤	話合い	京都市内	継続取引希望
機-15	プレス加工(抜き、曲げ、絞り、タッパ)	自動車部品、機械部品、工芸品、園芸品等小物部品	福知山市 300万円 8名	機械プレス15T～100T(各種)	話合い	不問	NCロール、クレードルによるコイルからの加工も可
機-16	精密切削加工(アルミ、鉄、ステンレス、真鍮、樹脂)	各種機械部品	京都市南区 1000万円 18名	MC、NC旋盤、NC複合旋盤20台	話合い	隣接府県	φ0.5～φ180までの丸物切削加工を得意としています。
機-17	外観目視検査	電子部品等小物	城陽市 300万円 6名	検査台3台	話合い	京都・大阪・滋賀	運搬可能
織-1	縫製	スカーフ等小物類	京都市上京区 1000万円 4名	ロックミシン	話合い	話合い	手縫いも可
織-2	仕上げ(縫製関係)、検査	婦人服全般	京都市北区 300万円 8名	仕上げ用プレス他	話合い	話合い	
織-3	和洋装一般刺繍加工及び刺繍ソフト制作		京都市山科区 1000万円 3名	六頭・四頭電子刺繍ミシン、パンチングマシン	話合い	不問	タオルや小物など雑貨類の刺繍も承ります。多品種小ロットも可。運搬可能。
織-4	仕上げ、下札付、カバー掛	婦人服全般	長岡京市 個人 2名	バキューム仕上台	話合い	話合い	運搬不可
他-1	販促ツール(マンガ)の企画・製作	ビジネスコミック誌	亀岡市 個人 6名		話合い	不問	自社の研修、商品アピールに用途は様々です。お気軽にお問い合わせください。

※受発注あっせん情報を提供させていただいておりますが、実際の取引に際しては書面交付など、当事者間で十分に話し合いをされ、双方の責任において行っていただきますようお願いいたします。

クリエイティブ京都 MaT

Management & Technology for Creative Kyoto

取引適正化無料法律相談のご案内

「代金が回収できない」「取引先が倒産した」「不良品の賠償問題」など取引先とトラブルが生じた場合、どう対処すればいいのか？法的にはどうなるのか？

京都産業21では、製造委託等取引に関する法律相談や苦情・紛争及び経営活動で生じる様々な法的問題でお困りの中小企業の方に対し、顧問弁護士による無料法律相談を下記のとおり行っております。お気軽にご相談ください。

相談日 ● 毎月第2火曜日(13:30から16:00)

相談場所 ● 京都産業21 会議室

お申込み ● 相談は予約制となっております。事前に下記までご連絡ください。

所定の申込書をお送りしますので、相談内容を記載の上、お申込みください。

【お問い合わせ先】

(財) 京都産業21 事業推進部 市場開拓グループ

TEL:075-315-8590 FAX:075-323-5211

E-mail: market@ki21.jp

お問い合わせ先：●財団法人 京都産業21 主催 ●京都府中小企業技術センター 主催

日	名称	時間	場所
May 2008. 5.			
9 (金)	●貿易実務講座(第1回 ／3回シリーズ)	13:30～16:00	京都府産業支援センター 5F
17 (土)	●府溶接技術競技会	8:30～14:30	京都職業能力開発促進センター
19 (月)	●3次元CAD等体験講習会(3次元CAD)	13:30～16:00	京都府産業支援センター 1F
20 (火)	●3次元CAD等体験講習会(3次元CAD(金型設計支援ソフト))	13:30～16:00	京都府産業支援センター 1F

日	名称	時間	場所
June 2008. 6.			
21 (水)	●3次元CAD等体験講習会(3次元CAE(構造解析))	13:30～16:00	京都府産業支援センター 1F
22 (木)	●3次元CAD等体験講習会(ナレッジ管理ソフト他)	13:30～16:00	京都府産業支援センター 1F
23 (金)	●品質工学講演会	13:30～16:30	京都リサーチパーク1号館 4F AV会議室
20 (金)	●京都産業21環の会 20年度定期総会	15:00～	リーガロイヤルホテル京都

専門家特別相談日
(毎週木曜日 13:00～16:00)

○事前申込およびご相談内容について、(財)京都産業21 お客様相談室までご連絡ください。
TEL 075-315-8660
FAX 075-315-9091

取引適正化無料法律相談日
(毎月第二火曜日 13:30～16:00)

○事前の申込およびご相談内容について、(財)京都産業21 事業推進部 市場開拓グループまでご連絡ください。
TEL 075-315-8590
FAX 075-323-5211

海外ビジネス特別相談日
(毎週木曜日 13:00～17:00)

○事前の申込およびご相談内容について、(財)京都産業21 海外ビジネスサポートセンターまでご連絡ください。
TEL・FAX 075-325-2075

インターネット相談実施中!

京都府中小企業技術センターでは、中小企業の皆様が抱えておられる技術上の課題をメール等でお答えしていますので、お気軽にご相談ください。

▶ <http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/consul/consul.htm>

メールマガジン「M&T NEWS FLASH」(無料)をご活用ください!

約1万5千人の方々にお読みいただいております京都府中小企業技術センターのメールマガジンは、当センターや(財)京都産業21、府関連機関が主催する講習会や研究会・セミナーなどの催し物や各種ご案内、助成金制度等のお知らせなど旬の話題をタイムリーにお届けしています。皆様の情報源として是非ご利用ください。

ご希望の方は、ホームページからお申し込みください。

▶ http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/mtnews/get_mtnews.htm

「M&T 情報缶」をご利用下さい

～開発製品・技術、イベント情報などを展示～

京都府産業支援センターロビーに円柱形の広告塔「M&T 情報缶」を設置しています。これは、中小企業の皆さまにご利用いただける情報発信ツールです。製品・サンプル等を一定期間展示し、多くの来場者にご覧いただくことが出来ます。どうぞご利用ください。

[掲示仕様 ポスター類:A3横サイズ40箇所]

展示スペース:W90×H60×奥行き180cm(ライト点灯可)]

※お問い合わせ・お申し込みは、

(財)京都産業21企画総務部(TEL 075-315-9234)又は

京都府中小企業技術センター企画情報室(TEL 075-315-9506)までご連絡ください。



— 知ろう 守ろう 考えよう みんなの人権! —

京都府産業支援センター <http://kyoto-isc.jp/> 〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134

財団法人 京都産業21 <http://www.ki21.jp>

代表 TEL 075-315-9234 FAX 075-315-9240
けいはんな支所 〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台1丁目7(けいはんなプラザ ラボ棟)
TEL 0774-95-5028 FAX 0774-98-2202
北部支援センター 〒627-0011 京都府京丹後市峰山町丹波139
TEL 0772-69-3675 FAX 0772-69-3880

編集協力/石田大成社

京都府中小企業技術センター <http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/>

代表 TEL 075-315-2811 FAX 075-315-1551
中丹技術支援室 〒623-0011 京都府綾部市青野町西馬場下38-1
TEL 0773-43-4340 FAX 0773-43-4341
けいはんな分室 〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台1丁目7(けいはんなプラザ ラボ棟)
TEL 0774-95-5027 FAX 0774-98-2202